

大会申し合わせ・競技上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は、令和8年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び「本大会申し合わせ事項」を適用する。
- (2) 予選リーグは11ポイント3ゲームマッチとし、2ゲーム先取とする。決勝トーナメント・決勝リーグについては、11ポイント5ゲームマッチ、3ゲーム先取とする。どちらも原則、消化ゲームは行わない。（ただし、参加者状況によって決勝トーナメント及び決勝リーグは、3ゲームになる場合がある。）
- (3) JTТА公認のユニフォームが望ましいが、白系以外のユニフォームであれば本大会の参加を可とする。JTТА公認以外のラケットを使用する際は、競技開始する前に審判長に申し出ること。
※主催者で白系と判断した場合は、ビブスを着用していただく場合がある。
- (4) 原則として、競技区分と男女別に3人リーグ戦で行うが、申込状況によりトーナメントにすることがある。
- (5) 身体的理由により、正規のサービスが困難な場合は主審に申し出ること。主審の判断により、サービスの規定を緩和することができる。
- (6) 知的障害の部においても、正規のサービスが困難な場合は相手に不利にならないと主審が認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (7) 特段の理由で試合の中断があった場合、1マッチでの中断時間は最大5分間とする。
- (8) 車いす使用者のサービスに関して、以下の場合は「レット」とする。
〈レシーバーのコートでバウンドした後〉
 - ① どちらかのサイドラインを横切ってコートを通じた場合
 - ② ボールがレシーバーのコートに触れた後、ネットの方向に戻った場合
 - ③ ボールがレシーバーのコートに止まった場合※但し「レット」がコールされる前に打球した場合は有効となる。
- (9) 車いす使用者がプレー中に、車いすのクッションと大腿後部が最小限の接触をしなかった場合、相手方のポイントとなる。
（例）車いすのフットレスト等を使用して起立する場合、臀部が完全に浮き上がる行為は相手方のポイントとなる。
- (10) 車いすプレーヤーと立位プレーヤーの対戦におけるサービスについては、レシーブ側にルールが適用される。（車いす使用者のみ）
- (11) 促進ルール、タイムアウトのルールは適用しない。
- (12) 電動車いす使用者について、競技エリアに入ったら電源を切ることとする。

2 会場への入館

出場選手の入館を優先とする為、混雑状況により、試合会場(体育館)に入ることを規制する場合がある。

3 招集

- (1) 各コートの試合番号順に掲示および各コートの放送により招集する。
- (2) 試合コートに集合しない場合は、館内放送により再度呼び出しを行うが、5分を経過しても集合しない場合は、棄権とする。

4 その他

- (1) 使用球は3スタープレミアムクリーン（白40mm）を使用する。
- (2) 選手が会場、試合コートから離れる場合は、競技進行に支障のないようにすること。
- (3) 競技時間は、進行状況により前後する場合がある。
- (4) 更衣は、体育館男子・女子更衣室を利用すること（シャワーの利用可能）。なお、ロッカー使用時は必ず100円硬貨により施錠すること（使用后、硬貨は返却される）。紛失等の責任は一切負わない。
- (5) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。なお、会場内で体調不良となった場合は、近くのスタッフに申告すること。
- (6) 写真撮影および動画撮影は原則禁止とする。
- (7) 手話通訳者を配置する。